

地域密着型金融の取組みについて

はじめに

当金庫は、「豊かで快適な地域社会の基盤づくりへの貢献」、「高品位で安心できる総合金融サービスの提供」を経営理念の柱に掲げ、地域に密着した経営を業務運営の基本とし、「地域密着型金融推進計画」を策定し実践しております。

2018年度の主な取組み内容と、2019年度の推進計画は次のとおりであります。

2018年度取組み状況について 〈中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み状況〉

2018年度は、地域金融機関としての社会的使命を果たし地域密着金融の更なる深化を図るため、次のことを重点施策として金融仲介機能の発揮、地域経済活性化への貢献、及び利用者の金融ニーズに積極的に取組みました。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

お取引先の経営課題を把握・分析した上で、資金供給者の役割のみならず、取引先企業に対するコンサルティング支援を行いました。また、事業のライフステージに応じた各段階でのきめ細かい支援に取組み、地域経済の活性化のための資金供給や情報提供・経営相談・改善支援などを行いました。貸出条件の変更等にも真摯に対応し、資金繰りの円滑化を図りました。

- ① お取引先との信頼関係を深化させ、財務・定性情報に基づいた実態把握と経営課題の把握・共有に努めました。企業のライフステージや事業の持続可能性を見極め、最適なソリューションの提案に努めました。

〈経営支援先として40先を選定、うち新規改善支援取組み 3先、改善計画策定 6先〉。

- ② 外部機関と連携したより専門的な支援を行いました。

- 経営改善事業 (兵庫県信用保証協会の経営サポート会議5件 など)
- 専門家派遣事業 専門家派遣10件 (兵庫県信用保証協会、中小企業庁ミラサポ、中小企業基盤整備機構、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点など)

- ③ 企業のライフステージを見極め、各種の中小企業支援施策を活用した支援を行いました。
- 創業・新規事業開拓の支援
 - 事業の成長可能性を評価し、地域の活性化に向けた支援を行いました。〈創業・新事業融資 23件225百万円〉
 - 日本政策金融公庫とも連携した開業支援を行いました。〈創業関連 3件87百万円〉
 - 成長段階における支援
 - 融資審査能力・目利き力の向上等の人材開発に努め、事業性評価に基づいた融資に努めました。
〈設備投資など「成長・育成」につながる新規融資 356件6,884百万円〉
 - 新たな販路の獲得の支援
「第6回個別商談会の開催（12月3日）」 バイヤー6社 参加事業所11社 成約1件
「川上川下ビジネスネットワーク事業」 新たに8社の調査依頼を受付けました。
 - 日本政策金融公庫と連携した支援を行いました。〈成長関連 35件758百万円〉
 - 「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」「各地公体等の補助金」等の申請に関与し、手続きの支援や資金調達のアドバイスを行いました。〈補助金等交付 40件279百万円〉〈協調した融資 29件449百万円〉
 - 事業価値を見極め、担保・保証に過度に依存しない融資審査を進めました。
 - 経営改善・事業再生、条件変更等の支援
 - 改善計画の策定や条件変更等においても、お取引先の実態と申込み内容の妥当性と実現可能性を検証し円滑化支援を行いました。また、必要に応じて他の金融機関等と緊密な連携を図りました。
 - 貸付の条件変更先からの新規融資の申込みに対しても、改善計画の内容や債務償還能力を検証し適切に対応しました。〈円滑化関連 126件1,809百万円〉
 - 中小企業者の債務者区分ランクアップ実績 25先（うち、集中的に支援を行っている経営支援先では4先）
 - 事業の持続可能性が見込まれない先に対しては、経営者の生活再建や当該企業の取引先への影響を踏まえ慎重に対応し、円滑な債務整理に向けた支援を行いました。

経営支援等の取組み実績(2018年4月～2019年3月)

		(単位:先数)				(単位:%)				
		期初 債務者数	うち 経営改善支 援取組み先 数	αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数	αのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数	αのうち再生 計画を策定し た先数	経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率	
		A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α	
正常先	①	3,366	7		6	1	0.2		14.3	
要 注 意 先	うちその他要注意先	②	420	16	0	16	4	3.8	0.0	25.0
	うち要管理先	③	35	8	2	5	8	22.9	25.0	100.0
破綻懸念先	④	113	9	2	6	5	8.0	22.2	55.6	
実質破綻先	⑤	83	0	0	0	0	0.0	—	—	
破綻先	⑥	33	0	0	0	0	0.0	—	—	
小 計(②～⑥の計)		684	33	4	27	17	4.8	12.1	51.5	
合 計		4,050	40	4	33	18	1.0	10.0	45.0	

※「期初債務者数」は、法人・個人事業主です。

※ランクアップとは、ご融資先の財務や経営状況に応じてランク分けした「債務者区分」が経営の改善により、上位の区分に変更になることをいいます。

● 事業承継への支援

- 信金中央金庫 中小企業支援部による職員向け勉強会を行いました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

- ① 地方創生に向けた金融機関の役割を踏まえ、地域の各種団体等との連携を深めた地域活性化への貢献に取り組みました。
 - 地域の各種団体等との連携
 - 地元の地公体や商工会等と連携した会議等にも積極的に参加しました。
 - 北近畿中小企業支援連絡会議への参加
 - 北近畿の金融機関が連携して取引先の円滑化支援を行う仕組みに参画し、協調改善に向けた情報交換を定期的に行うと共に、お取引先向け経営戦略セミナー（福知山会場、豊岡会場）も開催しました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- ① お取引先の利便性の向上に向け、積極的な情報発信を行いました。
 - NBC（なかしんビジネスクラブ）の運営を通じ、レポート配信、経営セミナーの開催など経営情報の提供を行いました。
 - 新人若手社員研修 テーマ：「社会人としての意識改革・行動改革」 講師：榊タナベ経営
 - 経営セミナー テーマ：「リーダーシップは声と言葉の力」 講師：吉川美代子
 - 第20回なかしんふるさと賞「商工業・伝統工芸文化・スポーツ・ボランティア部門」において、地域に貢献され活躍されている13の団体・個人を顕彰し地域に紹介しました。
 - なかしん年金友の会「わくわく倶楽部」の優待サービス提携施設を充実させ、地元観光業者の広告と販促に貢献しました。
 - 地域景気動向調査を定期的（年4回）に実施し、分析結果を情報としてホームページに掲載し還元しました。
 - CS（顧客満足度）アンケート調査を行い、意見箱の活用と併せて、より多くの会員や利用者の方々のご意見、ニーズにお応えできるよう適切な対応に努めました。＜CSアンケート無作為抽出郵送先数 2,500先、うち回答数685先＞

2019年度推進計画

2019年度は、地域金融機関としての社会的使命を果たし地域密着型金融の更なる深化を図るため、次のことを重点施策として金融仲介機能の発揮、地域経済活性化への貢献、及び利用者の金融ニーズへの取組み強化に積極的に取り組んでまいります。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

お取引先の経営課題を把握・分析した上で、取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮に努めます。また、地方創生を踏まえ地域経済の活性化や健全な発展のために貢献してまいります。このため、事業のライフステージに応じた各段階でのきめ細かい支援を行います。

- ① 積極的な事業性評価を行いお取引先との信頼関係を深化させ、実態把握を一層進めることにより経営課題を明確にし、ライフステージに応じた支援を行います。
- ② 継続的なモニタリングを通じて、お取引先自らが課題を認識し自助努力による課題解決に取り組むようアドバイスします。
- ③ 関係する他の金融機関等（政府系金融機関・信用保証協会等及び中小企業再生支援協議会を含む）との連携や施策の有効な活用を行います。

● 創業・新規事業開拓の支援

- 事業の成長可能性を的確に見極めた資金の供給を押し進めます。
- 日本政策金融公庫と創業・新事業に関し連携し支援するなど、各種創業支援施策などの公的支援とも協調します。

● 成長段階における支援

- 各種補助金等の支援施策を活用した支援を行います。
- ビジネスマッチング等により、新たな販路の獲得等を支援します。
- 事業の発展・持続可能性を評価し資金需要に対応します。その際、事業価値を見極め、担保・保証に過度に依存しない融資審査を進めます。
- 事業性評価のため融資審査能力・目利き力の向上に向けた職員の人材開発に努めます。

- 経営改善・事業再生・業種転換等の支援
 - 抜本的な経営改善が必要なお取引先に対して、外部機関も活用した実効性のある計画策定等の支援を行います。
 - 貸付の条件変更等においても、改善計画の妥当性と実現可能性を検証し支援すると共に、定期的なモニタリングによるフォローを行います。
 - 貸付の条件変更先から新規融資の申込みがあった場合でも、改善計画の実現可能性があり債務償還能力の向上に資すると判断される場合には、適切に新規融資を行うように努めます。
 - 事業の持続可能性が見込まれない先に対しては、経営者の生活再建などを踏まえ慎重に対応し、円滑な債務整理に向けた支援を行います。
 - 地域経済活性化支援機構を活用し、地域経済力の活性化・向上に努めます。
- 事業承継への支援
 - 後継者の有無や事業承継に関する経営者の意向を踏まえつつ、相談機能の強化に努めます。また、外部関係機関との連携強化により専門的なアドバイスをを行います。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

- ① 地域の情報と当金庫の人材・ノウハウを組み合わせた活動により、地域活性化への貢献に取り組めます。
 - 地域経済団体等との協調
 - 商工会議所・商工会等との連携により、開業等の産業活性化支援に向けた積極的な活動を行います。
 - 地元の地公体や商工会等と連携して地域経済の活性化に向け、貢献可能な分野を検討し役割を果たして行きます。
 - 当金庫の営業力を活かした情報収集を行い、地域資源や優れた商品・サービス・技術等を掘り起し、地域企業を応援して行きます。
 - お取引先の特徴を活かしたビジネスマッチングの展開
 - 信用金庫業界のネットワークや外部機関を活用した情報提供を行います。
 - 販路拡大のための「商談会」や、製造業のマッチング支援の「川上川下ビジネスネットワーク事業」等を積極的に活用し、売上拡大支援を行います。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

① 地域や利用者に対する積極的な情報発信を行います。

- お取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化
 - NBC（なかしんビジネスクラブ）の運営を通じ、レポート配信、経営セミナーの開催など経営情報の提供を行うとともに、会員相互間の交流によりビジネスチャンスを創造する場の提供に努めます。
- 地域の情報収集、及び情報発信機能の強化
 - 地域景気動向調査を定期的（年4回）に実施し、分析結果を情報としてホームページに掲載し還元します。
 - 前年度に引き続きCS（顧客満足度）アンケート調査を行い、意見箱の活用と併せて、より多くの会員や利用者の方々のご意見、ニーズにお応えできるよう適切な対応に努めます。
 - 地域に貢献され活躍されている企業・個人を、なかしんふるさと賞「商工業・伝統工芸文化・スポーツ・ボランティア部門」において顕彰し、地域にご紹介します。

数値目標

「地域密着型金融推進計画」の取組みのなかで以下のことについて数値目標を設定し、積極的に推進します。

① 経営改善支援への取組み

- 経営改善支援取組み先数 40 先
 - うち今年度新規支援取組み先数 6 先
- 今年度経営改善計画策定先数 10 先
- ランクアップ目標 15 先

② 「成長・育成」につながる新規融資の取組み

- 取組み件数 500 件

③ 利用者ニーズを把握するための取組み

- CSアンケート無作為抽出郵送先数 2,500 先

以上